

藤山一雄

ふじやま いちゆう

舊滿洲國官僚。明治二十二年四月十六日山口縣生れ

(一八九一)。第五高等學校を經て、大正五年東京帝國大學法科大學卒業。

兵役、半農生活約十年のち昭和四年渡歐、主としてデンマーク、スイス

に滞在。次で大連に赴き、編譯華工八八司職員として功績を擧げ滿洲建

國に參劃、國務院初代實業部總務司長、恩賞局長、國史中央博物館館

長等を歴任。この間五・一五事件直後、首謀者の一人橋本二郎滿洲落

入の折に頼まれて匪を捕縛し、甘粕正彦民生部警務司長の談判を釋

放せられたといふ。二十一年引揚げ後歸農、山口縣顧問、縣新生運動

顧問。二十二年中國文化賞受賞。へ珍らしい文化人で、絵をかき、小

説きものし、歌をよみ、作曲をし……大槓のニ味線を一挺持つて欧米

を旅行……白人を驚かせたという人物である。(武藤富男)。

著書に、小説『群像ラオコオン』(再版・昭和六年一月十日大連・多

以良書房)、『新滿洲風土記』(昭和十二年九月、二十日新京・滿日文

化協會「東方國民文庫」)、『伊藤ハムシの生涯』(康徳十五年五月、二十日

新京・藝文社)、『冷たい炎』(第一部・昭和二十五年十一月十五日

くろしお出版)他歌集、繪本等を含む著述二十餘部。



藤山一雄